

ピコトラスーパーキット用 ノイズブランカーユニット

MODEL NB-2S

¥2,000

★完成品のピコトラSシリーズには既に本機が標準装備されていますので必要ありません。また、旧MX-6S（メーター、リットが別売の¥21,800のキット）にノイズブランカーを組み込みたい方は、別商品のOM-6をお求め下さい。

1. はじめに

この度はミズホNB-2Sをお買い上げいただきまして誠に有り難うございました。

NB-2Sは別売のピコトラSシリーズキットに組み込むノイズブランカーの調整済ユニットです。トランシーバーと同時に購入された場合は最初にトランシーバー本体を完成させて動作確認を済ませてからNB-2Sを組み込んで下さい。同時に組み立てを進行すると万一、うまく動作しなかった時に動作不良の原因が発見しにくくなります。

2. 付属部品

- (1)調整済ブランカーユニット基板 1個
- (2)ビニール線 黒, 赤, 緑, 紫, 灰各1本
- (3)ビス (2φ×6ナベニッケル) 2本
- (4)スペーサーカラー (4φ×3) 2本
- (5)組み立て説明書 1冊

3. トランシーバーへの組み込み

★トランシーバー本体の説明書も合わせて参照下さい。(6ページの図-5など参照)

- (1) トランシーバーの上下ケースを開き、電池ホルダーの赤と青線ははずして、電池ホルダーシャーシをトランシーバーから取ります。
- (2) 次に図-1の絶縁チューブ付の抵抗15KΩ（茶緑橙金）を取り去り、抵抗ははずした所の穴⑧にNB-2キットの紫色リードを半田付けします。同様にもう一つの穴⑨にNB-2Sキットの赤色リード（電池ホルダーの赤線ではありません。）を半田付けします。（15KΩは不要となります。）
- (3) 紫と赤色のリード線の先端を第2図のように反対側へ引き出しておきます。この末端の半田付けは後の工程でしますので、とりあえずこの状態しておきます。

図-1

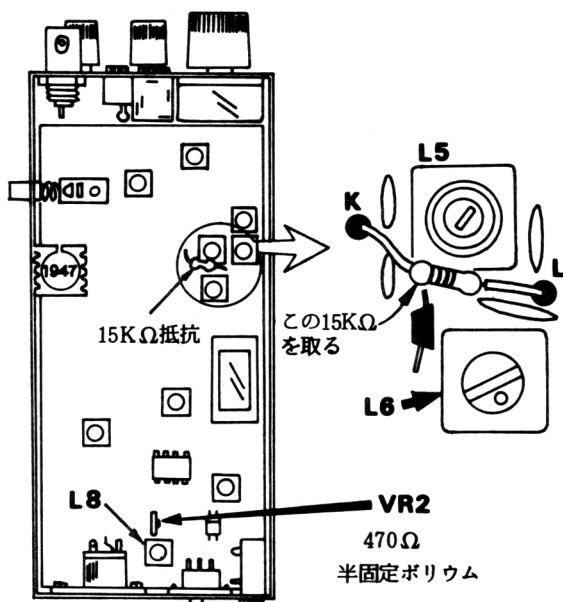
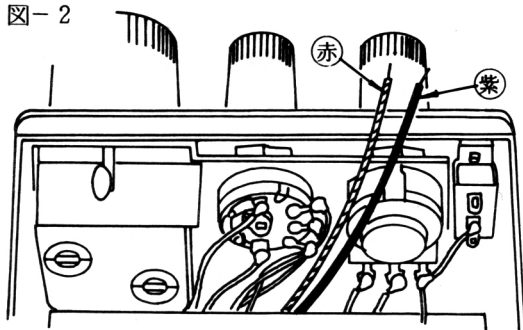
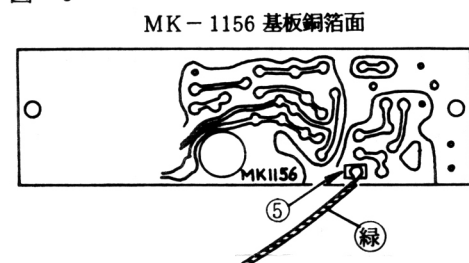


図-2



- (4) NB-2S基板の裏側⑤(図-3)へ緑線を付けます。(⑤は四角のパターンです。)

図-3



- (5) 次にNB-2S基板の表側(図-4参照)の①に黒線, ②に灰線を付けます。そして前工程(3)で引き出しておいた赤線を③, 紫線を④に半田付けして下さい。

- (6) NB-2S基板⑤からの緑線を図-5のように電池シャーシに通したら, スペーサーカラーとビス(2φ×6)で固定します。次に緑線の先端が電池ホルダーの大きい穴から見

図-4

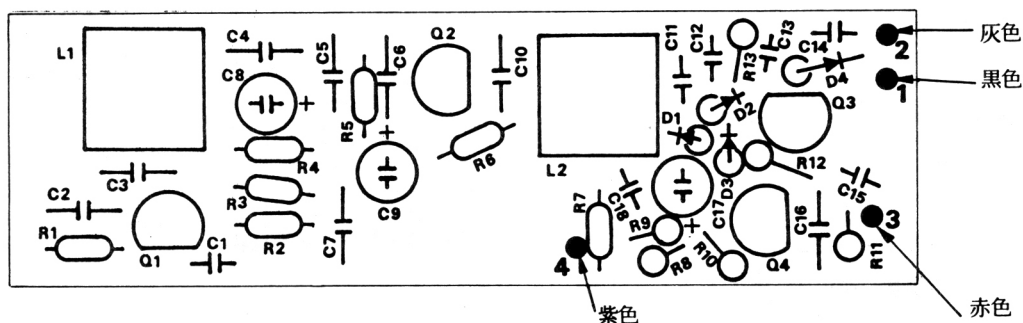
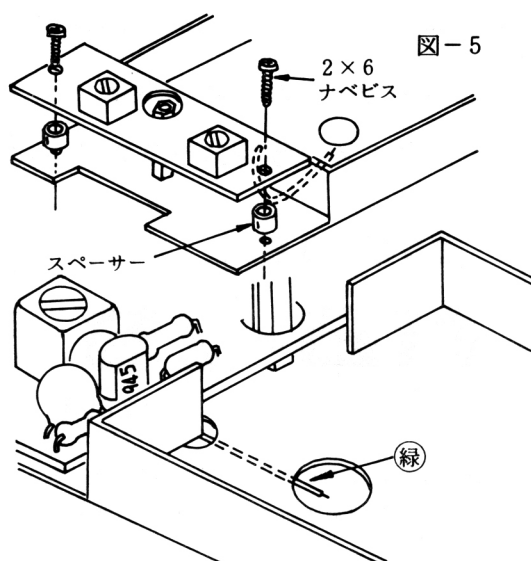
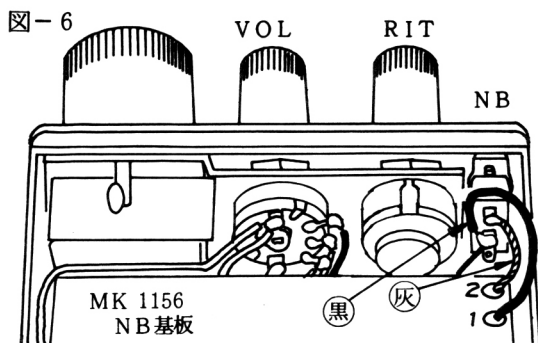


図-5



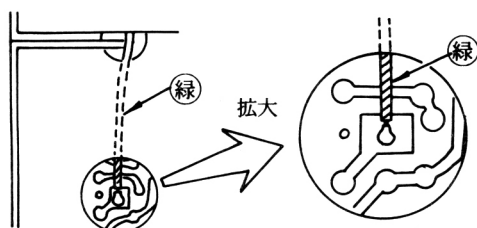
えるようにシャーシに沿わせます。
(軽くセロテープ等で仮止めすると良い。)

- (7) 電池シャーシをピコトラSに, 最初付いていたようにセットして, ビス止めします。次に電池ホルダーに付いていた赤と青色の線を, 各々もとの所へ半田付けします。
- (8) NB-2S基板からの黒リードを図-6のNBスライドスイッチの中点端子(既に銀色のメッキ線が半田付けしてある端子です。)と一緒に付けます。同様に灰色のリードを図-6のスイッチの上側端子へ半田付けします。
- (9) 最後に図-7のように, 前工程(6)図-5で仮止めした緑色のリード線をシャーシの大きい丸穴



の中央付近にある四角いパターンに半田付けします。これで配線は終了です。

図-7



4. 調整

★ 電源をつなぐ前に必ず配線違いや、ショート、イモ半田など無いかチェックして下さい。

- (1) ピコトラスーパーの電源を入れ、受信状態にします。
- (2) アンテナをつないで電波をキャッチして受信感度が最高になるよう図-1のコイル(L6)のコアを調整用絶縁ドライバーで、ゆっくりと左に回して合わせます。
- (3) アンテナをはずして無信号になるように受信状態にして、Sメーターの針が左側のS文字に合っているか(Sがゼロ点に合っているか?)どうかチェックして下さい。
もし、無信号の時にSメーターがゼロ点にない時は、図-1の下側のL8コイルのすぐ上の所にあ

る小さな半固定ポリウム(470Ω)を慎重に回して、Sメーターの針をゼロ合わせ(S文字付近になるように)して下さい。

これで調整も完了しました。

- (4) モービル運用などで、エンジンからのイグニッションノイズ(パルス性ノイズ)がある時には、NBスイッチをNB側にすると、ノイズが軽減されて弱いシグナルも聞きやすくなります。

★ 通常の運用ではNBスイッチをOFFにしてお使い下さい。受信時に付近に強力なシグナルがあるとNBが動作している時には、かぶりが起きる場合があります。

5. トラブルシューティング

★ 残念ながら上手に動作しなかった時は、次の順序でチェックしてみてFBにされて下さい。下記の確認はNB-2Sを組み込む前は正しく動作していた事が前提となります。

問 受信状態でも非常に弱いノイズ音が出るだけで何も受信出来ない。

答 15KΩの抵抗をはずした後の赤と紫色リード線の誤配、イモ半田、他のパターンへのショートなどが考えられます。

問 L6コイルのコアを回しても最大感度の所がない。

答 緑色リード線が他の部分などにショートしている。

問 NBスイッチをON, OFFしてもイグニッションノイズが軽減されない。

答 黒, 灰, 緑, 赤, 紫色の各々のリードのどれかが配線ミスしているはずです。

問 受信にしても何も聞こえないで、変な臭いがする。

答 NB-2Sの紫色リードがアース回路（電源の⊖回路）にショートしている。

この場合は、最悪ですとトランシーバーのスタンバイトランジスターであるQ12 2SC2320が破損します。

Q12はAch水晶の真下にあるトランジスターです。ショートの原因が、はっきりしたら正しく直してからQ12を新しいトランジスターと交換して下さい。

問 どうしてもNGなのでミズホ通信でも修理，調整してくれますか？

答 ~~修理期間は2週間位かかりますがサービス課にて修理させていただきます。~~

TEL XXXXXXXXXX サービス課



ミズホ通信株式会社